

— 目 次 —

【3】商標教室 判例研究編Ⅱ

第3章 顕著性論

「オールラウンド事件」 — オールラウンドはスキーの用途表示か？

(Point) 商標の使用と登録 顕著性と商品・役務の関係 品質表示の意味の特定
顕著性と商品の特定

「VO5事件」 — ローマ字2文字と数字を組み合わせた商標は顕著性があるか？

(Point) きわめて簡単でありふれた商標 ローマ字 数字 モノグラム 商品の品番・型番・記号
効能・数量・価格 ハイフン

「ワイキキ事件」 — ワイキキは化粧品産地の産地、販売地か？

(Point) 産地・販売地 地名商標 国家名 地理的名称 行政区画 旧国名 著名な繁華街
特殊例(観光地、山、高原、川、滝、湖、海岸、ダム、スポーツの開催地、広場、
ヨットハーバー)

《判例等》 ジョージア事件 平和台饅頭事件 山原(やんばる)事件

「アマンド事件」 — 使用による顕著性

— アマンドはお菓子の品質表示語か？
— アマンドは有名か？

(Point) 使用による顕著性 需要者 判断基準 周知証明 商標・商品の同一性
使用による顕著性が認められた登録商標の権利範囲 店名と看板

《判例等》 WA-7事件 ジューシー事件 ジョージア事件 ダイジェスティブ事件 角瓶事件
ゴルフスコアカード用ボールペン事件(立体商標) ヤクルト容器事件(立体商標)

第4章 類似性論

「ラコステ鱔事件」 — ラコステ鱔とクロコダイル鱔は類似するか？

(Point) 図形商標の類否判断 引き算 ダブルパテント(二重登録)の禁止 除斥期間の
存在理由 商標の色彩 色彩の特例

《判例等》 カンショウ乳酸事件 BeaR事件 Panther事件

「Q-CELL/Q-TIPS事件」 — 類否判断において「Q-」の部分が除外される？

(Point) ローマ字1文字2文字とハイフン ハイフンの有無 冗長な商標 スラッシュ

「ホワイトホース事件」 — ホワイトホースとゴールデンホースは類似するか？

(Point) 色彩を含む商標 類否審決例 等級表示 シリーズ表示 色彩自体の類似性
色彩の特例(商標法第70条)

「レールデュタン事件」 — L'AIR DU TEMPSはどのように称呼されるか？

(Point) 英文字商標の称呼 カタカナ二段書きの商標の称呼 類否審決 二段書きの商標の
使用 商標の同一性 社会通念上同一の商標 登録商標と認められる範囲
フランス語商標の称呼 使用者の称呼

《判例等》 リトルワールド事件

「宝福一事件」 — 宝と宝福一は類似するか？

(Point) 類否の判断方法 取引の実情 対比観察 離隔的観察 全体観察 要部観察 大きさやロ
ゴデザインが相違する商標の要部判断 出所混同 称呼類似でも商標非類似

《判例等》 Bee Allen事件 VOXフクロウ事件 健康科学ヤクルト事件

「大森林事件」 — 大森林と木林森とは類似するか？

(Point) 外観類似 取引の実情

《判例等》 シンガー事件 キスミー事件 ダイノール事件

「しょうざん事件」 — 氷山印としょうざんとは類似するか？

(Point) 取引の実情 考慮すべきでない取引の実情